

稲作情報



NO. 7

越後さんとう農業協同組合
電話番号(0258)41-2887

水稲の生育は、平年に比べ“**平年並み～3日程度遅く**”なっています！

平成29年 6月22日

早生品種は6月末頃より穂肥時期を迎えます！

速報!

コシヒカリ生育状況(6月20日調査:抽出調査地点平均値)

6月の気象が低温傾向となったことから、生育はやや停滞しています。本年の幼穂形成期及び出穂期は“**平年並み～3日程度遅れる**”ものと予想されます

- ・草丈：指標値比95%「やや短い」
- ・茎数：指標値比91%「やや少ない」
- ・葉数：指標値比+0.1葉「並み」
- ・葉色：指標値比+0.8「並み」

苗質の良否や移植時期の早晚により、地区・ほ場ごとの生育差が大きくなっています。ほ場ごとに“**生育診断**”を実施しましょう。

| 地区 | 田植日 | 草丈 (cm) | 茎数 (本/m ²) | 葉数 (葉) | 葉色 (SPAD) |
|-----|------|---------|------------------------|--------|-----------|
| 寺泊 | 5/8 | 33.9 | 392 | 8.2 | 38.8 |
| 和島 | 5/6 | 35.0 | 293 | 8.4 | 39.4 |
| 出雲崎 | 5/5 | 41.8 | 460 | 8.9 | 36.1 |
| 与板 | 5/15 | 32.3 | 312 | 8.2 | 34.3 |
| 三島 | 5/11 | 33.6 | 358 | 7.7 | 37.6 |
| こしじ | 5/10 | 35.3 | 400 | 8.7 | 40.8 |
| 平均 | 5/9 | 35.2 | 365 | 8.3 | 38.2 |
| 指標値 | 5/10 | 37.0 | 400 | 8.2 | 39.0 |

1. 出穂期及び穂肥時期(予想)

速報値です！今後の天候により左右されますので、今後の天候～生育状況に注意してください。

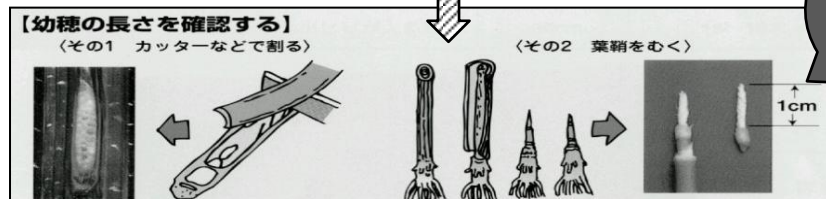
(1) 幼穂形成期及び出穂期予想と穂肥時期・施肥量の目安 (平成29年6月20日現在)

| 品種名 | 幼穂形成期 | 出穂期 | 10a窒素成分 (2回の合計) | 施用時期の目安 () は出穂前日数 | |
|-------|-------|-------|-----------------|--------------------|-----------------|
| | | | | 1回目 | 2回目 |
| ゆきん子舞 | 7月1日 | 7月25日 | 4kg | 6/30～7/2 (25～23) | 7/11 (14) |
| こしいぶき | 7月2日 | 7月26日 | 2(低地力)3kg | 7/3 (23) | 7/12 (14) |
| ゆきの精 | 7月4日 | 7月28日 | 2～3kg | 7/3～8 (25～20) | 7/14～18 (14～10) |
| コシヒカリ | 7月11日 | 8月4日 | 1～2.5kg | 7/17～20 (18～15) | 7/25 (10) |
| 新之助 | 7月20日 | 8月13日 | 2kg | 7/23～26 (21～18) | 8/1～3 (12～10) |
| あきだわら | 7月21日 | 8月14日 | 4～5kg | 7/20～22 (25～23) | 7/31 (14) |
| ゆきみのり | 6月30日 | 7月24日 | 4kg | 7/1～3 (23～21) | 7/10 (14) |
| わたぼうし | 7月1日 | 7月25日 | 2～3kg | 7/3～5 (22～20) | 7/13～15 (12～10) |
| こがねもち | 7月7日 | 7月31日 | 1～3kg | 7/13～16 (18～15) | 7/21 (10) |
| 五百万石 | 6月29日 | 7月23日 | 1～2kg | 7/3 (20) | 7/11 (12) |
| たかね錦 | 7月1日 | 7月26日 | 1～2kg | 7/6 (20) | 7/14 (12) |
| 越淡麗 | 7月18日 | 8月11日 | 2kg | 7/24 (18) | 8/1 (10) |

※ 適用移植期は、稚苗で5月5日～10日です。ほ場条件や今後の天候等により前後しますので、必ず幼穂確認を行い、ほ場ごとに穂肥時期を判断して下さい。

(2) 幼穂長と出穂前日数の目安

| 出穂前日数 (日) | 幼穂長 (cm) |
|-----------|----------|
| 24 | 0.1 |
| 20 | 0.2 |
| 18 | 0.5～1.0 |
| 12 | 4.0～6.0 |



※ ほ場内の平均的な生育の稲数本から総合的に判断して下さい。

注意!

中干しは遅くとも出穂の1ヶ月前までに終了しましょう！

2. 水管理

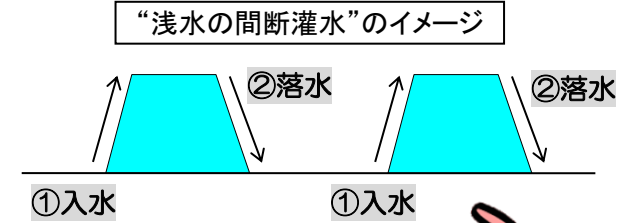
「小ヒビ」→「浅水の間断灌水」→「飽水管理」を徹底！

管内において、**茎数過剰・葉色の濃いほ場、中干し不十分なほ場**が散見されるので、該当するほ場では中干しを継続しましょう！

田面に“**小ヒビが入り、軽く足跡がつく程度**”になったら中干しを終了し、浅水の間断灌水を実施した後、徐々に飽水管理に移行しましょう。中干しは遅くとも生殖成長への転換期(出穂1ヵ月前)までには、終了しましょう。なお、長期間にわたるタメ水(←根腐れを助長)も厳禁です。



“小ヒビ”の目安



地耐力に不安があり中干し期間を延長(長く)したい場合は、「浅水の間断灌水(①入水→②落水を繰り返す)」により、大ヒビを入れないようにしましょう！



ポイント

3. 病害虫の発生状況

「斑点米カメムシ」と「葉いもち病」の発生に警戒が必要です！

(1) 斑点米カメムシ

…本田・農道畦畔における除草の徹底！(特に「ゆきみのり」は要注意！)

6/15～19実施の農道畦畔すくい取り調査により、アカスジカスミカメを中心に斑点米カメムシ類の発生密度の増加が確認されています。本田内(ヒエ・イヌホタルイ)・農道畦畔等(イネ科雑草)の雑草管理の徹底により、斑点米カメムシの発生密度を抑制しましょう！

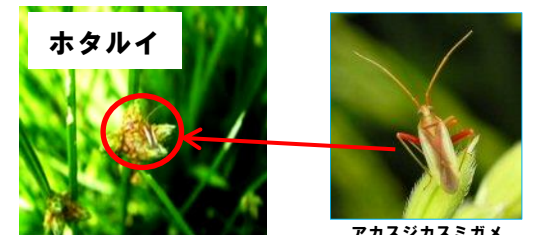
予告!

第2回 一斉草刈りウィーク 7月9日(日)～15日(土)

※第1回一斉草刈りウィーク後も引き続き
雑草種子が結実しない間隔で
雑草管理を徹底しましょう！

農道畦畔の重点対象雑草

メヒシバ、スズメノカタビラ、スズメノテッポウ、ナギナタガヤ



(2) 葉いもち病

…梅雨入り:6月21日 ⇒ ぐずついた天候が続くことにより発生が助長されます。

現在のところ発病は確認されていませんが、今後の天候次第では多発生が懸念されます。ほ場内をよく観察し、葉いもちの発生が見られた場合は早急に防除を実施して下さい。

| 資材名 | 10a使用量 | 対象病害等 | 備考 |
|--------|--------|------------|------------------|
| カスミン液剤 | 100ℓ | いもち病:1000倍 | 治療(緊急防除)【穂揃い期まで】 |

※ いもち病の“常発地域”や“発生しやすい品種”では特に注意して下さい。

～～営農情報のお問い合わせは、お気軽に最寄りの営農センターへ～～

次回稲作情報:7月初旬「生育状況、穂肥対応、病害虫対策」(予定)

品種・ほ場ごとに
出穂前日数
を確認しよう!